

印刷会社の匿名係 ~デザイナーのできることって案外あるようだ~

42 非接触の世界 「空中ディスプレイで未来を描く」

田淵 健一*

新しいものが生まれる

ワイワイガヤガヤと語り合い盛り上がっていた頃、そこから生まれるアイデアが実現していたことが懐かしい。

戸惑いながらも共に悩んで生み出したデザインは嬉しかった。

そんなトキめいた時間はいつになれば戻ってくるのだろうか。考えても仕方のないことだが、過去を振り返る時間は確実に増えたように思う。

それでも世の中は不思議なものだ。新しいワクワクは、今この瞬間にも続々と生まれている。

偽造防止との共通点

共有部となるドアの取手や、自動販売機などのボタン、スイッチには触れる必要がある。

今、そんな感染リスクの声に応えたのがドアオープナーだった。さらに取手、ボタン、スイッチには抗菌、抗ウイルスの機能を持つシートで保護する商品も登場している。私たちも微力ながらコロナ対策グッズとしてラインナップして、少しでも力になればと取り組んでいる。

私たちはこのような環境になってしばらくしてから思ってい

たことがあった。それは日常製造しているカード制作の根幹となる「偽造防止（セキュリティ技術）」の取り組みと似た感覚を感じていたからだ。

時間軸は異なるがカード製造の歴史に重なるものがあった。カードには数字を刻印したエンボス加工というものがあるが、これは設備があると作れてしまう。その後、磁気テープが貼り込まれるようになる。目には見えない磁気層にデータが刻まれているのだが、これはスキミングといった技法で複製品が作れてしまった。そこで新たなセキ

ュリティ対策として生まれたのがICチップを搭載したカードだった。専用のICカード読み取り機にカードを差し込んで動作させるものだ。そこからさらに進化したのがカードの中にICチップとアンテナが組み込まれた非接触型のカードだった。交通機関で使用されているカードがそれだ。なんと言ってもカードを端末機にかざすだけでよい。その機能性はお店の方にカードを渡す必要もなくなった。非対面の実現、ここに私たちは共通するものを見出していた。

SFの世界が現実

触れないでも起動する技術。非接触ICカードの製造をしてきた私たちにとって、この「非接触」という響きはモヤモヤとしたキーワードとなっていた。

そんな2020年7月、ビーコン搭載カードの提案で協業先のMIRAI BARと同行した折、次の案件のために手荷物として持参されていたデモ機を見せていただいたのだ。そこで「空中ディスプレイ」を目の当たりにすることとなった。空中で操作するパネルと言う方がわかりやすいかもしれないが、そこに未来のカタチがはっきり見えた。

何故ならSF映画の世界でよく目にしていた空中で映像が浮かび上がる光景そのものだったからだ。実は昔からある技術で



これを「空中結像」という。

空中に映像を投影するには専用のプレートが必要となるのだが、その素材を樹脂製にすることに成功し、量産化の目処がたったタイミングと、今の状況を打破できる革新的な技術として瞬間に注目を浴びるものとなっていった。

今では各種メディアでも取り上げられており、目にされた方も多いのではないだろうか。

スタートライン

お客様の「安心」と「安全」を提供する会社を目指す私たちにとって、空中ディスプレイの特性は、まさにそこに繋がるものだった。

それを実現すべく、2021年3月に東京ビックサイトで開催されたリテールテックという展示会で、MIRAI BARの協力をいただき、空中ディスプレイを参考出品させていただいた。

注目度は極めて高いものだった。

実際にテンキーの空中操作を体感してもらったり、グーグルアースを空中で触っていただいた。さらには空中ルーレットゲームを楽しんでいただく中で、現在商談が始まっている。

とは言っても、まだスタートラインに立ったところであり、この活用法については底知れない可能性を感じている。

カノンの音色が響く

こんな気持ちになった時、脳内では決まってカノン進行の音楽が次々と溢れてくる。

それはとても心が前向きな気持ちになるもので、大きな光に包まれるようなサウンドだ。奏でられている音色に推進力みたいなものを感じてならない。

ならば、この感覚を信じて前に進んでみようと思う。(つづく)

* TABUCHI, Kenichi
昌栄印刷株式会社 広報担当
兼 クリエイティブセンター長
tabuchi@shoei-printing.com

MIRAIBAR 株式会社

神田工業株式会社の社内ベンチャーとして設立。
神田工業の「ものづくりで世界に貢献」という精神を受け継ぎ、IoTデバイスの自社開発に取り組まれている。
また、自らのハードデバイスを利用したアプリケーションの開発もっており、ハードとソフトのトータルソリューションの提供を進めている。

本社
熊本県八代市鏡町有佐 1302 番地
姫路オフィス
兵庫県姫路市神田町 3 丁目 6 番地

ホームページ
<https://mirai-bar.co.jp/>

写真：空中ディスプレイ「MIRAIPIX」
※本体から浮かぶ映像はイメージ画像

